

# 十倉委員提出資料



スタートアップ躍進ビジョン  
~10X10Xを目指して~

2022年4月12日

一般社団法人 日本経済団体連合会

# I

## はじめに

### Why Startup ?

社会課題の解決やイノベーションを生む仕組みとして最も優れたスキームの一つ

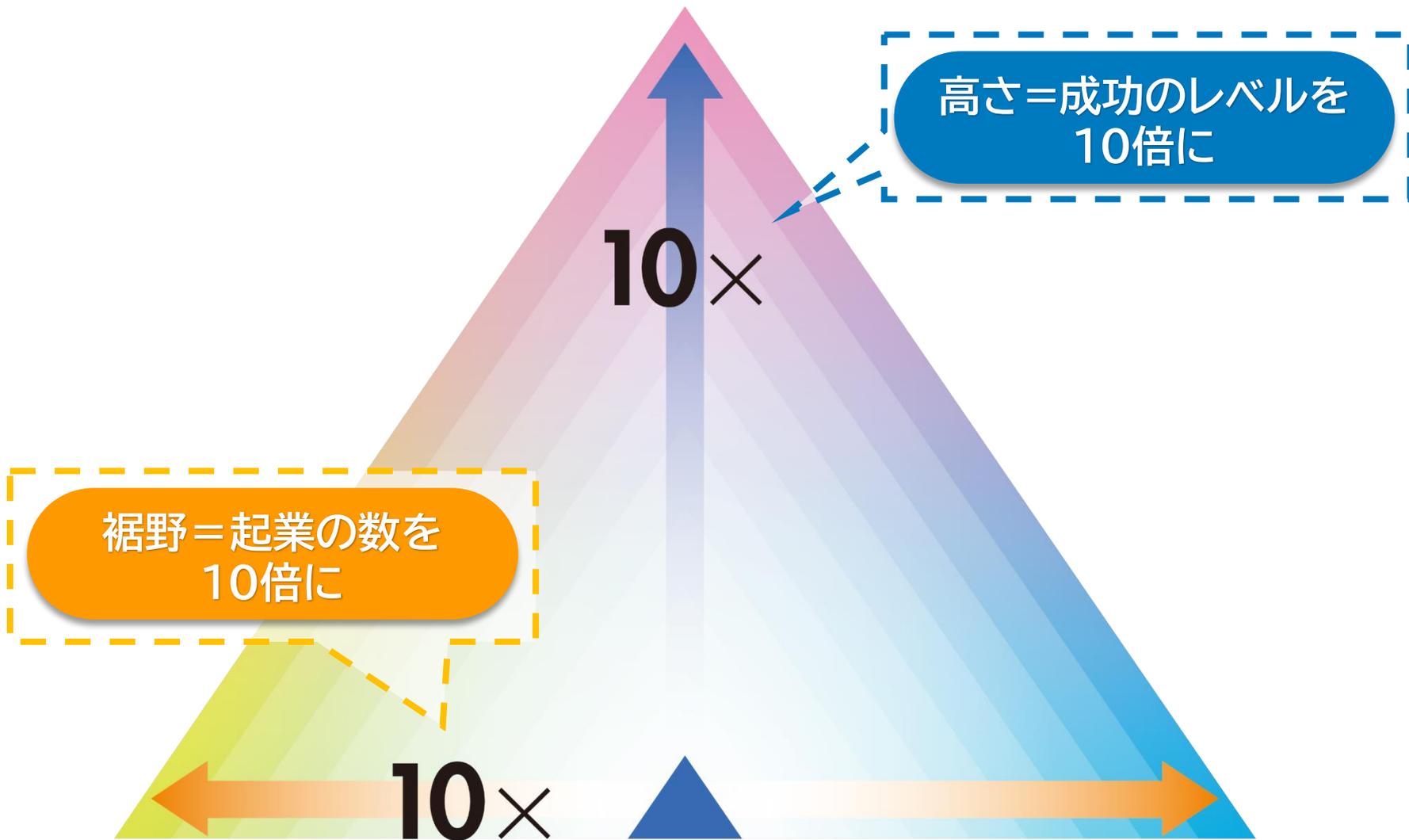
#### 昨今の状況

- わが国においても10年前と比較すると起業数も総投資額も大幅に増大、制度面も徐々に環境整備も進む
- スタートアップ先進国はその間にもさらにスタートアップ振興施策を打ち立てている（Faster-moving target）

日本経済全体を浮揚させ、再度競争力を取り戻すための最も重要な課題として  
**スタートアップエコシステムの抜本的強化を提言**  
景気変動に関わらず、**官民を挙げて必要な施策を一斉に、迅速に、力強く推進**

# II

## Vision : 10X10Xの世界へ



# Ⅲ

## Strategy & Actions (抜粋)

### 1. 世界最高水準のSUフレンドリーな制度

【官】SBIRの活用と抜本拡充など公共調達におけるSUの更なる活用 【民】SUの事業連携・出資に関する指針の遵守

### 2. 世界で大勝するスタートアップが続出

【官】政府系ファンドによる更なる成長資金の投入、ベンチャーキャピタル(VC)への公的資本の投資拡大 【民】大企業によるSUのM&Aの活性化

### 3. 日本を世界有数のSU集積地に

【官】内外のVCに対する支援や公的なLP出資を行う環境の整備

### 4. 大学を核としたSUエコシステム

【官】研究者・学生の起業支援 【民】地方銀行によるスタートアップ支援の強化

### 5. 人材の流動化、優秀人材をSUエコシステムへ

【民】採用含めあらゆるレベルでの人材の多様化、副業・兼業の推進

### 6. 起業を楽しみ、身近に感じられる社会へ

【官】初等～高等教育のアントレプレナーシップ教育の拡充 【民】教育現場へのスタートアップ創業者の派遣

### 7. SU振興を国の最重要課題課題に

【官】五か年計画の策定と着実な推進、その実行とフォローアップのための政府内の横断的司令塔機能の明確化